

情報学科（未来情報コース） カリキュラムフロー

CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
専門教育課程を履修する上で、また社会に出て活躍する上で求められる、人文科学・社会科学・自然科学の教養的知識並びに汎用的技能を身につけることができるよう、共通教育課程の諸科目を体系的に開講する。	リベラルアーツ（人文）	人文科学特論 リベラルアーツ（社会） 健康科学概論	社会科学特論 リベラルアーツ（自然） （健康科学概論）	日本国憲法 自然科学特論	→ 1_1 教養的知識	基礎的・汎用的知識と技能
	イングリッシュコミュニケーションI 基礎日本語I	イングリッシュコミュニケーションII 基礎日本語II 英語留学研修	イングリッシュコミュニケーションIII 基礎日本語III （英語留学研修） TOEIC演習 実践英語	イングリッシュコミュニケーションIV 基礎日本語IV （TOEIC演習） 実践英語 アカデミック英語	→ 1_2 コミュニケーション能力	
	情報処理基礎	情報処理特論 データサイエンス入門	データサイエンス特論 確率・統計		→ 1_3 リテラシー	
	初年次セミナー		科学方法論入門		→ 1_4 論理力	
	基礎演習I				→ 1_5 アカデミックスキル	
	アントレプレナーシップ入門	基礎演習II	イノベーション論I イノベーション論II 企業プロジェクトA 企業プロジェクトB	ビジネス概論 リベラルアーツ演習 学生プロジェクトA 学生プロジェクトB インターンシップA インターンシップB 就職セミナー	→ 1_6 未来を切り拓く力	
	工学・情報系の基礎数理I 基礎物理学 基礎化学I	工学・情報系の基礎数理II 物理学 基礎化学II	工学・情報系の数理I 工学・情報系の数理II 微分方程式 物理学実験		→ 1_7 数理基礎力	

CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
情報・通信・AI・地域創生に関する専門的な知識・技術を体系的に修得できるよう、上記分野に応じたコースを定め、年次と共に徐々に専門性を高める形で、基礎から応用へとつながる段階的・系統的な教育を展開する。	情報学入門 電子デバイス基礎	人工知能概論 電気回路入門 ものづくり教室	情報と職業 情報理論 データベース オブジェクト指向技術 電気回路II 電子回路I ディジタル論理回路 情報工学処理演習 電磁気学I	計算機アーキテクチャ オペレーティングシステム 情報セキュリティ 情報特別講義 電気回路III 電子回路II 電磁気学II 電子通信計測 制御工学 情報通信工学I 通信工学演習 材料物性工学 電磁気学III 情報通信工学II 電磁波工学 伝送工学 通信法規 電子デバイス工学	→ 2_1 情報工学の知識・理解	専門的知識と技能
	プログラミング基礎	プログラミング応用 アルゴリズム基礎	IoTプログラミング基礎 データ構造とアルゴリズム	IoTエンジニアリング基礎 次世代コンピューティング	→ 2_2 プログラミングの知識・理解	
	コンピュータ基礎 離散数学	代数学概論	幾何学概論 論理数学 グラフ理論 電気数学	コンピュータグラフィックス オートマトンと計算理論	→ 2_3 情報処理分野の 数学的な知識・理解	
			IoTプログラミング応用 人工知能I	データサイエンス 人工知能II	→ 2_4 人工知能の知識・理解	
		メディア処理プログラミング 音楽情報処理 画像情報処理 地域メディア基礎	音響・音声情報処理 地域メディア応用		→ 2_5 マルチメディア処理の 知識・理解	
		地域イノベーション論 異分野イノベーション基礎I コンピュータネットワーク	異分野イノベーション基礎II 異分野イノベーション応用I 異分野イノベーション応用II		→ 2_6 社会課題分析の知識・理解	

CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
社会に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・社会性を身につけることができるよう、共通教育課程・専門教育課程の双方の多様な科目において、倫理観や自己管理能力、協働性等の重要性を講じるとともに、それらを実践的に修得する機会としてアクティブラーニングを積極的に取り入れる。	健康スポーツ教育I ビジネスプランニング入門	健康スポーツ教育II 健康スポーツ実習 （健康スポーツ実習）			→ 3_1 自己管理能力	人間性・社会性
					→ 3_2 協働性	
			科学技術者倫理		→ 3_3 倫理観	

CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
■共通教育課程・専門教育課程の履修を通じて体得した教養的・専門的知識、汎用的技能並びに人間性・社会性を基盤に、情報・電気・電子・通信・地域創生に関する課題の発見・解決に実践的に取り組む機会として、卒業研究をカリキュラムに組み込む。 ■情報・電気・電子・通信・地域創生に関する課題を発見し、その解決策を導く実践的能力を養うため、講義形式の教育の他、演習や実験・実習等の体験を通した自習の教育を、共通教育課程・専門教育課程の双方において積極的に推進する。				卒業研究	→ 4_1 課題発見力	応用力・実践力
			情報通信実験I 知能情報学実験	IoTエンジニアリング応用 情報通信実験II 知能情報システム設計 電子情報応用実験	→ 4_2 課題解決力	
		電子情報基礎実験I 電子情報基礎実験II				

※太字は必修科目、赤太字はコース必修科目